

竹の子

第80号 平成22年4月24日(土)発行

発行責任者 坂井 正志

編集 竹の子学園広報委員会

だより

発行 社会福祉法人 明星会 竹の子学園

〒250-0052 神奈川県小田原市府川752-5

TEL 0465-32-7740 E-mail info@takenokogakuen.jp

FAX 0465-32-7741 HP <http://www.kanagawa-id.org/takenoko/>

※ 利用者の個人名・写真の掲載についてはご本人とご家族の了承を得ておこなっています。



10/04/02 正面玄関の前で桜の木の下にて

新年度あいさつ



社会福祉法人
明星会 理事長
安藤 進

社会福祉法人を取り巻く環境はここ数年大きく変動しており、政権交代による自立支援法の廃案、そして新たに障がい者制度改革推進会議が設立され、障害者当事者が中心になり制度改革に取り組まれています。当法人の経営も制度改革に沿った経営方針や運営が求められています。

昨年から新体制に移行し事業を行ってきましたが、各事業の利用者増員にともなう施設の新設や移転が必要になってきました。

二十二年度の計画としては、手狭になりましたケアセンターの作業所を学園グラウンドの北側に新設し、施設と共同使用します。また、パン工房ハッピーの店舗を今よりも広い店舗のところに移動させ、新グループホームを富士フィルム前駅近くに新設します。

竹の子学園は今までの経験を生かし、県西地区における障害者支援施設として利用者の人権をより一層尊重し、安全・安心で快適な生活を提供するとともに、利用者のニーズに対し自己選択、自己決定を重視してまいります。また、利用者のニーズにあった社会参加、社会自立に向けた「個別支援計画」を作成し、利用者一人ひとりの生活支援に努めてまいります。

地域の皆様の温かいご支援、ご家族の皆様のご協力とご理解、施設職員のご協力があつてこそ、初めて利用者のびのびと明るく、楽しい生活を送ることができます。

これからも、利用者の立場になった支援を行なつてまいりますので、皆様のご支援、ご協力をお願い致します。



竹の子学園 施設長

坂井 正志



昨年度は、竹の子学園が新体系に移行し、新たなスタートを切りましたが、職員による不祥事に振り回された一年になってしまいました。しかし、「ピンチは最大のチャンスである。」という言葉信じ、信頼回復に邁進して来ました。この竹の子だよりが発行される頃には、第三者評価の結果が公表されていると思います。現在の安定しているとは言いがたい社会情勢の中で、福祉を取り巻く状況もゆれていきます。しかし、利用者支援に対する信念は普遍的なもので、利用者の幸せのために私たちは仕事をしているのです。チェンジというキーワードが、かなり薄れてきましたが、竹の子学園ではチャレンジ精神を持ち続けていきます。そのため的人员配置や、施設整備を積極的に行っていきます。これからも、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願致します。

竹の子学園 生活支援課長

小島 彰則



先日『インビクタス〜負けざる者たち〜』という映画を観に行きました。南アフリカの黒人大統領マンデラさんが、自国で開催されるラグビーのワールドカップを通して、白人黒人の垣根を取り払い国の心一つにしていく感動の物語です。久しぶりにすがすがしく気持ちの良い映画でした。「インビクタス」とはラテン語で「征服されない」「不屈の」という意味があるそうです。本を読んだで感銘を受けたり、人の話から心を動かされることもたくさんありますが、映画が生き方のヒントになる事もあります。改めて映画っていいなと思います。自分の中で「楽しい」という言葉はとても大きなウェイトを占めています。自分が楽しく前向きでなければ周りも楽しくないし元気が出ない、大きく声を張り気持ちを言葉に入れていく（もともと声は大きいのですが）不屈の心・折れない心で。一年間よろしくお願致します。



竹の子学園

地域支援課長 露木 とし



春は、一斉に咲き始める花に気持ちはずみ、新たな出会いや別れに身が引きしめる気持ちで混在します。

この仕事をしていると多くの方との出会いがあります。先日、研修会でお世話になった方と食事をする機会がありました。以前からゆっくりお話しをしたかったと思っていた方で、仕事に対する熱意や意識の高さに驚きと羨望がこみ上げ、巷で話題のパワースポット以上に刺激的な彼女から沢山のパワーと若さを頂きました。これからも出会いの機会を大切にして、多くの方から刺激を受けてパワーを充電していきたいと思えます。

自立支援法になってから、自立支援協議会や相談支援ネットワークが構築されたことにより、事業所相互の連携が密になりサービス提供に競争原理が働いてきている事を実感します。多くの出会いは自己を見つめ直し、自己研鑽する機会を与えられているようにも感じます。

今年、パン工房ハッピーの移転、新規竹の子ホームの建設など慌しくなりそうですが、パワー全開で邁進したいと思えます。

竹の子ケアセンター

細野 真理子



竹の子ケアセンターは、地域で生活されている方が日中活動の場としてへ生活介護×自立訓練（生活訓練）において、総合的な支援の下、充実した社会生活を営む事を目的とし、月一回休日稼働のレクリエーション活動や特殊浴槽を平成二十二年度に廃止するにあたり、作業活動の拡充及び新たな日中活動プログラムを形成していきます。

私は、社会経験された利用者さんの真面目な姿勢に感心し、小田原養護学校卒業後、成長されていく姿に歓喜しております。利用者さんが楽しく利用出来る様、スタッフのチーム力を発揮し、利用者さんの笑顔がいっぱいなケアセンターにしていきたいと思えます。

また、ご家族の皆さまとの信頼関係を築き、利用者さんやご家族の皆さまが満足できるサービスの提供に努め、個別にあった支援を取り組んでまいります。

今後とも皆さまのご協力をよろしくお願ひ致します。

新職員紹介

一・二寮担当

生活支援員

一ツ田 淳



この度新しく竹の子学園で働く事になりました一ツ田 淳です。

前職は不動産の営業をしていました。竹の子学園のような施設での仕事は初めてで、毎日利用者の皆さんや、諸先輩方に教わる事が多く、戸惑ってしまうことも多々ありますが、これから、少しでも早く仕事に慣れて行けるよう頑張りますので、これからよろしくお願ひします。

【好きなこと】 料理、ドライブ
【好きな食べ物】 チーズ

一・二寮担当

生活支援員

田中 英子



四月から新しく竹の子学園の一員として勤務させて頂くことになりました田中英子です。

他施設にて二年の経験がありますが、ところ変われば何もかも違うことばかりで戸惑いながらも早く利用者の方々に認めて頂けるように頑張りたいと思っています。宜しくお願ひします。

【好きなこと】 お風呂やサウナでの読書
【好きな食べ物】 パン、玉子

三・四寮担当

生活支援員

杉本 裕信



本年度より、竹の子学園で働かせて頂く事になりました、杉本裕信と申します。まだまだ、勉強しなければならぬ事がたくさんあり、ご迷惑をお掛けしてしまう事もありますが、利用者の方々と共に学び、日々を楽しく過ごしていけるよう頑張りたいと思えます。これからよろしくお願ひ致します。

【好きなこと】 スキー・サイクリング
【好きな食べ物】 焼肉・寿司

また、作業補助非常勤職員として、安藤 京子さん、佐藤 美樹さんが加わりました。

明星会 ● 平成22年度新体制

社会福祉法人明星会

【理事長】 安藤 進

施設サービス

障害者支援施設 竹の子学園【生活介護・施設入所支援】

【施設長】	坂井 正志	【1・2寮 寮長】	佐藤 良美
【事務長】	磯崎 敦子	【3・4寮 寮長】	林 政行
【サービス管理責任者】	小島 彰則	【管理栄養士】	藤澤 智子
【生活支援課長】	小島 彰則	【苦情解決責任者】	坂井 正志
		【苦情受付責任者】	小島 彰則

障害福祉サービス

地域支援課

【地域支援課長】	露木 とし
【日中一時支援事業責任者】	小島 彰則
【短期入所事業責任者】	小島 彰則

パン工房ハッピー

【就労継続支援】

【管理者】	坂井 正志
【サービス管理責任者】	安藤 智美

竹の子相談支援センター エール

【相談支援専門員】	露木 とし
-----------	-------

竹の子ホーム

【共同生活援助・共同生活介護】

【管理者】	坂井 正志
【サービス管理責任者】	露木 とし
【沼田荘 世話人】	宮澤 敬子
【第2沼田荘 世話人】	浅野 慶子
【プリンスマンション 世話人】	石坂 啓子
【第2プリンスマンション 世話人】	鈴木 和子

竹の子ケアセンター

【生活介護・自立訓練】

【管理者】	坂井 正志
【サービス管理責任者】	美濃島 嘉治

平成二十二年
度
社会福祉法人
明星会運営方針

当法人の中核をなす「竹の子学園」は、平成六年に建築された建物の設備において、改修が必要になってまいりました。今後は修繕の必要な箇所を洗い出し、公的助成金等を利用して計画的に改修をしてまいります。

また、平成二十一年四月より新体系に移行し、一年が経過しました。サービスの内容や職員の待遇等、移行前と大きく変えることなく、活動しております。

平成二十二年度は、各事業においても改修・新設等を行う予定です。

「竹の子ケアセンター」は、特殊浴槽による入浴サービスを本年度末で廃止します。手狭になっている作業室につきましては、竹の子学園と合わせて新築等を検討していきます。

「パン工房 ハッピー」は移転先が決まり、現在移転に向けて進行中です。

「竹の子ホーム」は、新グループホームの案が最終決定し、年度内の開設に向けて進行中です。

平成二十一年度に発覚しました不祥

事を真摯に反省し、今後も全ての利用者並びにご家族の方々に安心して利用して頂けるよう、理事会、評議員会を活性化し、苦情解決制度の活用にもより一層の力を入れてまいります。利用者や家族の方々が、些細な不満や不安でも言える環境を整え、問題解決に全力を尽くします。

今後より一層の利用者満足の高いサービスを提供できるよう、役員一同その職務を遂行するものとします。



平成二十二年
度
評議員会・
理事会報告

平成二十二年三月十八日、竹の子学園会議室において、【平成二十一年度

第二回評議員会】及び【平成二十一年度 第四回理事会】が、開催されました。午後一時三十分より評議員会に

おいて以下の議題について審議しました。

議 題

議題第一号

平成二十一年度

補正予算について

「竹の子学園」

本年度より新法へ移行し、自立支援費等収入が増額し、増収分は、増員分の職員給料、電話器の入れ替え、コンピュータシステムの改善等の経費増、また今後見込まれる大規模修繕等の経費の積立金として予算計上します。また、洗米機の購入に際し、共同募金より寄付を頂いております。「竹の子ケアセンター」、「パン工房ハッピー」「竹の子ホーム」についても当初予算より増収が見込まれます。各事業所において、福祉・介護職員処遇改善事業助成金が支給されますが、その増収分は、全て職員の処遇改善の為に費用に充当します。

議題第二号

平成二十二年
度

事業計画について

竹の子学園は、レクレーション等は出来るだけ従来どおり行います。竹の子ケアセンターの特殊浴槽は平成二十二年末にて廃止します。パン工房ハッピーは、移転を予定しています。竹の子ホームは、新たなホームを十月に開所出来るよう、計画しています。

議題第四号

平成二十二年
度

予算について

「竹の子学園」

運営費補助金が減額される為、二十一年度補正予算よりも大幅な縮小となります。「竹の子ケアセンター」「パン工房ハッピー」は、共同募金の寄附金により車両の購入を予定しております。

各議題につき、評議員より意見を頂き、評議員会の審議を終了しました。

引き続き午後三時三十分より、理事会が開催されました。

評議員会で出されました意見を踏まえ、すべての議案について、承認されました。

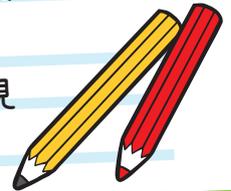
諸規程の改定について

議題第一号

社会福祉法人明星会に在籍する全職員の処遇改善の為、就業規則等の規程について一部改定をします。

平成22年度 年間行事予定

- 4月 お花見
- 5月 みんなの集い
寮ハイキング
- 6月 あじさい見学
- 7月 夏祭り
- 8月 花火大会
- 9月 お月見
- 10月 スポーツレク
- 11月 竹の子祭
- 12月 クリスマス会
- 1月 どんど焼き
- 2月 節分・梅見
- 3月 ひな祭り



初めての東京マラソン

竹の子ホーム

矢島 一也



ぼくは、東京マラソンに初めて出場しました。一〇kmに出場しました。走った結果、初めての東京マラソンで初めて優勝して、さらに大会新記録も出せて嬉しかったです。金メダルも



らいました。そして、いろいろな人に写真をとってもらったり、報告できたことが嬉しかったです。また、頑張ります。

平成二十一年度

明星会苦情報告

社会福祉法人明星会では、苦情解決制度により苦情の受付・解決を行っております。昨年度は六件の苦情がありました。

【内容】 施設対応方法 四件
車両運行方法 二件

【苦情主】 利用者のご家族 四件
匿名 二件

受付をした苦情の現状を調査し、解決改善に努めておりますので今後とも忌憚ないご意見を頂けますようご協力をお願い致します。

【苦情受付担当】 小島 彰則
【苦情解決責任者】 坂井 正志

後援会中止のお知らせ

長年、ご支援頂きました後援会ですが、この度監査で指摘を受け募集を中止することになりました。

なお、これまでの会費は竹の子学園の設備整備に使わせていただきます。

これまでのみなさまからのご支援に感謝いたします。誠に勝手ながらこのような対応をさせていただく事をご了承下さい。

ボランティア募集

竹の子学園では、学園行事や定期的なボランティアをして下さる方に、ボランティア登録をお願いしています。

興味のある方は、お気軽に担当までご連絡をお願いいたします。

◇主なボランティア内容
作業・作業補助・入浴介助・クラブ活動等

お問い合わせはこちら

☎〇四六五(三二)七七四〇

✉ borra@takenokogakuen.jp

(担当・廣澤)

編集後記

今年も桜の花が咲き始め暖かい季節となりました。学園では表紙の写真のように皆さんの笑顔がたくさん咲いています。

今年度の竹の子だよりは一つ一つの出来事を大切にしたいと思っております。今年度もよろしくお願い致します。

(鈴木)